

学校評議員会の実施報告書

学校名 飛驒特別支援学校

校長 安藤 邦寿

所在地 高山市山田町 8 3 1 - 4 4 電話 0577-34-7122

1 会議の名称

平成 3 0 年度 第 2 回学校評議員会

2 会議の構成

<学校評議員>

犬石 美慧子 地域住民代表

京極 範子 地域住民代表

嶋田 義宏 P T A 会長 (欠席)

杉本 晋治 当該学校に関する機関等の代表者

山木 隆平 企業関係者

<学校職員>

安藤 邦寿 校長

北村 浩好 事務部長

竹田 万里子 教頭

本田 まゆみ 小学部主事

清水 栄枝 中学部主事

奥田 寛 高等部主事

古田 武士 保健主事

3 会議の目的

学校教育が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携を図りながら充実した教育活動を展開するため、学校外の有識者等の参加を得て、校長が行う学校運営に関し幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求める。

4 会議の開催

平成 3 0 年 1 0 月 4 日 (木) 午前 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 4 5 分

飛驒特別支援学校 会議室及び各教室

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

(2) 評議①

(教頭より)・「生徒及び保護者を対象とするアンケート」について

意見1：「わからない」と書くしかない項目があった。ホームページを見るようにしたが、様子がわかる場が増えるとよいのではないか。

意見2：「まったくあてはまらない」という回答について、原因がどこにあるのかを丁寧に探ってほしい。

意見3：校長、教頭が同時に異動することはあるのか。また、異動した職員を知らせてもらえる方法はないのか。

学 校：同時に異動することはある。前任者と連携はしているが、新しい目で見えていくという面もある。異動についてお伝えする方法は考えていく。

意見4：作業学習で取り組んでいる、「半分青い器」の新聞報道により、生徒に何か変化はあったのか。

学 校：思い出にして卒業できると取り組んでいる。

意見5：10年ぐらい続けていくとよいと思う。

(教頭より)・防災にかかわる取組について

意見6：10年位前には、障がいのある子のことを民生委員や見守り隊の方に知られたくないという方がいたが、今はどうか。

学 校：今もいらっしゃる。町内によって、障がいのある人に対する緊急時の対応に温度差もあると思われる。

意見7：保護者の方が子どもさんについて、民生委員のような立場の方に伝えていくよう、学校からも声掛けをお願いしたい。

意見8：福祉避難所は、障がいの特性によって、合う、合わないがある。身近な福祉避難所が利用できるかを確認しておくとうい。

(3) 授業参観

中学部・高等部の校内作業実習の様子を中心に参観していただいた。

(4) 評議② 授業参観及び教育活動についての御意見・御感想

意見 9：見るたびに新しい気づきがある。先生方は社会性を身に付けさせて社会に送り出していると感じた。

意見 10：よい実践をしていることや、本校のよさがあるのに伝わっていないと感じる。最近、社会の理解が進んでいないと感じるできごともあった。

意見 11：作業種の開拓がされていた。また、自助具もよく工夫されており、職員の努力が感じられた。

意見 12：児童生徒は褒められると反応を返したり、うれしく感じたりする。褒められる機会がたくさんあるとよい。

(5) 価格審査会

どんどん工房のポーチ・巾着袋(小)(大)の名称変更と価格変更 (承認)

6 会議のまとめ

貴重な意見をいただいた。教員や児童生徒に返していきたい。学校を開放して、知っていただくための努力をしていきたい。